

令和3年度外部評価 事業評価シート

No	5	事業名	国内交流事業
----	---	-----	--------

所属	市民生活部市民協働課地域振興係	事業開始年度	平成27年度
事業内容	市民が被災地でのボランティア活動をする際の宿泊費、交通費に対し、補助金を支給しています。		
目的	被災地ボランティア活動の支援を通して、ボランティア意識の高揚を図ります。		
根拠法令等	安城市被災地ボランティア活動支援事業実施要綱		
関連事業	なし		

【実施状況】

活動実績	令和2年度	《被災地ボランティア支援事業》 災害の発生した地域において、市民が行う災害救援活動、復興支援活動及び被災地の復興につながる活動をする際の宿泊費、交通費に対し、補助金を支給するものです。 ・宿泊費:1泊につき、3,000円を限度として3泊まで ・交通費:15,000円(遠方は20,000円)を限度として2分の1 前年度の活動に対し、1人(6,200円)支給しました。 ※令和2年度はコロナ禍の影響により被災地でのボランティア活動ができませんでした。
	平成31年度	市民が被災地でのボランティア活動を行い、40人(345,300円)支給しました。
	平成30年度	市民が被災地でのボランティア活動を行い、69人(636,400円)支給しました。
	改善取組 (これまでの改善内容)	①交通費上限15,000円から遠方は20,000円を追加(平成28年) ②災害発生後5年を経過した日以降に行う活動を対象外とする(平成31年) ③申請書の押印廃止(令和3年)

別紙2－1

【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	事業費内訳	① 事業費(決算額) (千円)	636	345	6
		委託料	636	345	6
	②	人件費(従事職員数×6,300千円)	693	756	756
		従事職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
③ 総事業費(①+②) (千円)		1,329	1,101	762	
財源内訳	一般財源 (千円)	764	481	6	
	特定財源(など) (千円)				
	財源合計 (千円)	764	481	6	

【活動指標】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被災地ボランティア活動支援事業の申請者数	1	50	50

【成果指標】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
災害ボランティアコーディネーターの登録者数	108	110	115

【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	被災地ボランティア活動に参加した市民には、平時では被災地ボランティアでの活動を生かし、自主防災組織との連携を図るなどの活躍を期待します。 また、安城市が被災した際は、災害時ボランティアの受け入れを行い、被災者のニーズを把握し、適材適所へボランティアを派遣する役割を担う、災害ボランティアコーディネーターとして活動いただくことを期待しますが、コーディネーター登録に結びついていません。 災害ボランティアセンターの運営にはボランティアコーディネーターが必要ですが、ボランティアコーディネーターの存在が一般的に認知されていません。

【論点】

外部評価での論点	被災地ボランティア活動を行った市民が活動の成果を安城市において生かすため、災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催時期や日程を工夫し、参加者が増加するような取り組みを行っていきたいと考えます。 また、ボランティアコーディネーターについて、市民に広く認知してもらえるような取り組みを行っていきたいと考えます。
----------	---